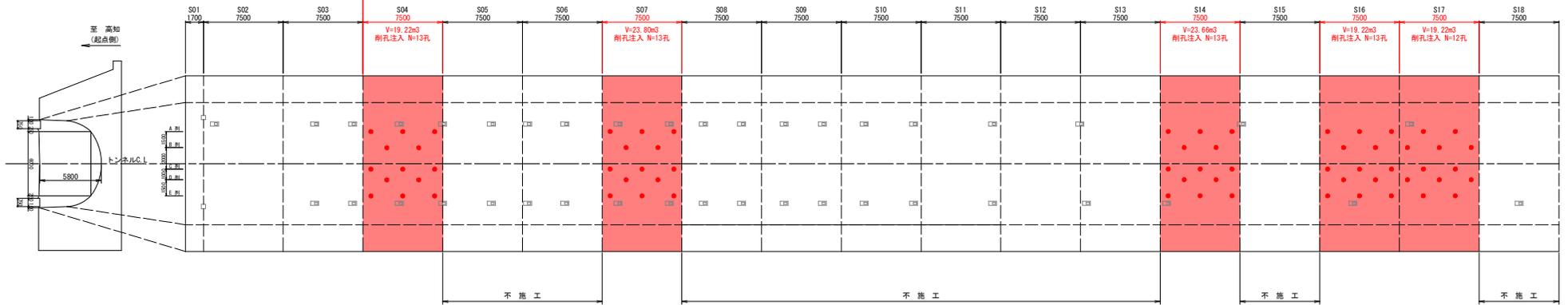


対策工展開図 S=1:200

<覆工背面空洞対策>

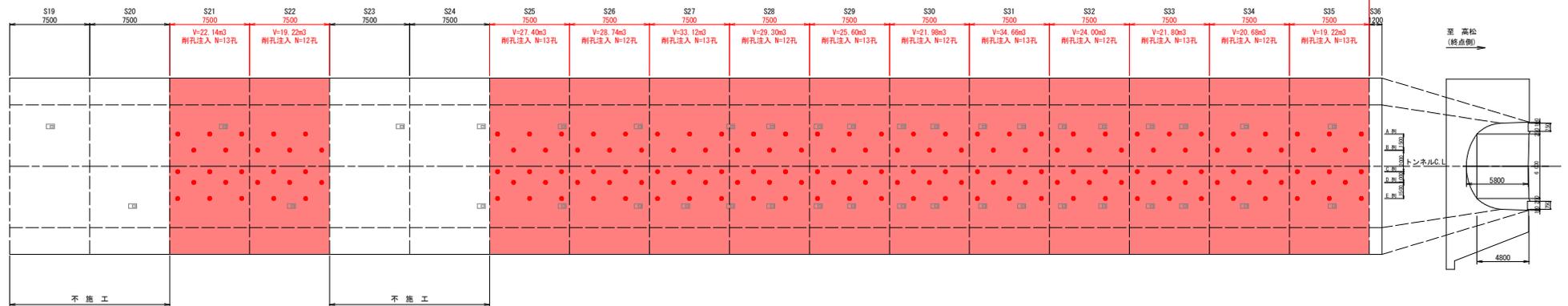
施工延長 L=135m

裏込め注入工 V=433m³ 削孔注入 N=227孔



施工延長 L=135m

裏込め注入工 V=433m³ 削孔注入 N=227孔

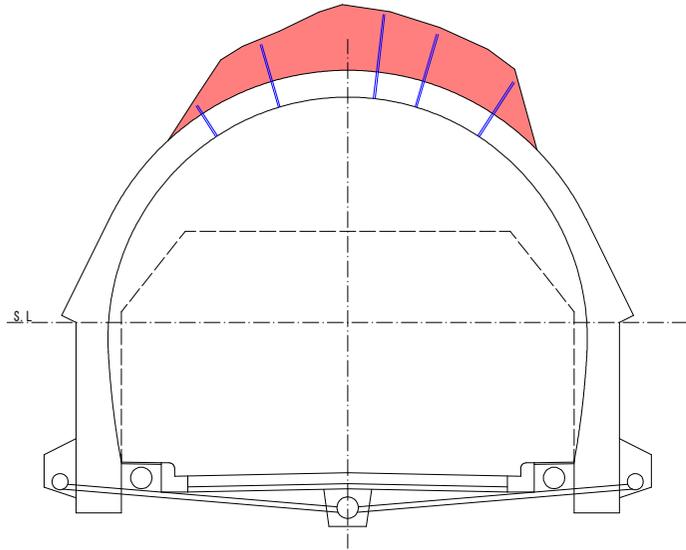


実施設計図面

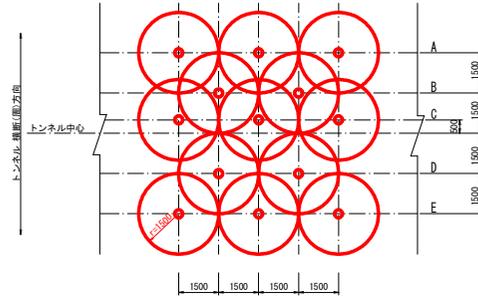
工事名	R3第1区 国道195号(新丸交差トンネル) 那賀・木須助 トンネル修繕工事(短手掘保型)		
路線名等	一般国道195号		
工事箇所	那賀郡那賀町木須助		
図面名	対策工展開図		
縮尺	S=1:200	図面番号	1 / 2
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>		

対策工詳細図

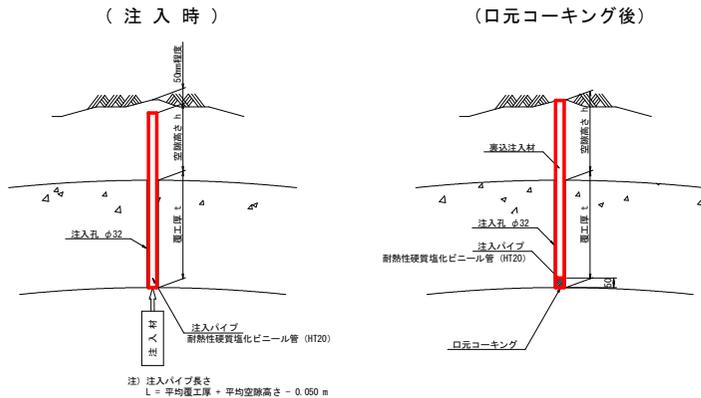
覆工背面空洞対策
裏込め注入工
標準断面図 S=1:50



覆工背面空洞対策
裏込め注入工
注入孔配置図 S=1:100



覆工背面空洞対策
裏込め注入工
注入孔詳細図 S=1:10



施工フロー

1. 炭素繊維シート接着 (1方向2層)

炭素繊維シート接着工(2層)は、トンネル覆工不足(t=20mm以下)箇所における補強対策であるため、注入裏込め注入工前に施工すること。
2. 裏込め注入工

①削孔	覆工コンクリートをレッグドリル等で削孔(φ32mm)する。
②検尺	削孔した注入孔からスケール等を用いて覆工厚、空隙量の検尺を行う。
③注入管設置	削孔した箇所注入管を挿入しコーキング作業を行って注入管をセットする。
④注入ホースの取り付け	注入ホースを固定する。
⑤注入開始	注入圧力を確認しながら注入を開始する。
⑥注入	・注入圧力、漏水、構造物の変状監視を継続する。 ・適正な吐出量を維持する。
⑦注入終了	注入圧力、注入量の確認を行って注入を終了する。
⑧注入ホースの取り外し	圧抜き(飛散に注意)後、ホースを外す。
⑨注入箇所の移動	注入ホースの移動、または注入機材の移動により別孔へ移る。
⑩注入管の処置	注入管や注入材料等が得来落下しないよう処置を講ずる。また覆工表面のシール材等の除去を行う。

実施設計図面

工事名	R3第1号 国道195号(新九文名トンネル) 那賀・木頭助 トンネル修繕工事(短手橋保型)
路線名等	一般国道195号
工事箇所	那賀郡那賀町木頭助
図面名	対策工詳細図
縮尺	図示 図面番号 2 / 2
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局<那賀>